

平成30年度（第41期）事業報告書

（平成30年4月1日から31年3月31日まで）

I 事業実施状況

財団設立の目的である、「岡山県下に所在する優れた自然や文化的遺産の保護・保存及び管理とその利用の促進を図るとともに、岡山県ゆかりの先賢の顕彰並びに伝統に根ざした地域文化の創造を行うことにより「うるおい」と「やすらぎ」のある郷土づくりに寄与する」ことをめざし、県、市町村、民間団体、会員等と連携して次の事業を実施した。

（参考）

定款第4条第1項に掲げる事業

- （1） 優れた文化的遺産、自然景勝地、保護すべき動植物の生息地等（以下「文化財等」という。）の取得及び保護活用並びに先賢の顕彰に関する事業
- （2） 文化財等や先賢の事績等に関する資料の収集、保存及び公開並びに講演会等の開催その他知識の普及啓発に関する事業
- （3） 伝統に根ざした地域文化の創造及び振興に関する事業
- （4） 第1号から第3号までに規定する事業に関連するボランティアの育成及び支援
- （5） 第1号から第3号までに規定する事業に関連する受託事業
- （6） その他この法人の目的を達成するために必要な事業

公1 文化財等保護活用事業（第4条第1号、第4号関係）

（1） 岡山の文化的遺産等の保護、活用に関する事業

① 備中漆復活支援

備中うるし利活用協議会の事務局運営

- ・平成30年度第1回協議会 10月3日（水） 岡山県庁分庁舎
平成30年度上期事業報告・今後の予定、意見交換等

（参考）

後楽園和文化体験 和漆色絵付体験 8月4日（土）

- ・平成30年度第2回協議会 3月13日（水） 岡山県分庁舎
平成30年度事業報告・今後の予定、意見交換等
新見市産漆の活用方法協議

② 文化財庭園後楽園の保護・活用

後楽園の管理運営については、県からの受託事業として実施しているが、県からの要請に基づき、参加費用等、経費の一部の負担を求めるイベント等の実施や指定管理施設における自主事業的な事業について財団の事業として次のとおり実施した。

ア 後楽園の伝統行事等に併せた行事等へ彩りを添える取組

- ・茶つみ祭 5月20日（日） 茶つみ体験事業 参加者265人
- ・お田植え祭 6月10日（日） 田植え体験事業 参加者42人
- ・観蓮節 7月1日（日） 茶席等参加者1,660人
- ・名月観賞会 9月24日（月・祝） 茶席等参加者1,684人
- ・タンチョウの園内散策
9月16日（日）、10月8日（月・祝）、21日（日）
11月4日（日）、12月9日（日）、16日（日）、
1月1日（火・祝）、3日（木）、2月3日（日）、10日（日）
2月24日（日）

イ 後楽園の魅力発信のための財団独自の取組

- ・初夏の延養亭特別公開 5月21日（月）～27日（日）
午前9時30分から1日6回（土、日は7回）各回20分程度
参加者679人
- ・お田植え体験会 6月11日（月）
岡山市立岡山中央小学校5年生 171人
- ・カキツバタ株分け体験講座の開催 6月14日（木）
参加者10人
- ・岡山後楽園の庭しごと体験講座『苔玉作り』の開催
10月25日（木） 参加者12人
- ・稲刈り体験会 10月10日（水）
岡山市立岡山中央小学校5年生 176人

- ・「岡山後楽園で能をたのしむ会」の開催
 岡山後楽園能舞台 10月6日(土) 参加者244人
 協力 観世流 藤々会
 能 「東北」「野守」
 出演者 山崎芙紗子、山崎浩之ほか
 解説 山崎福之(京都府立大学教授)
 狂言 「鬼瓦」
 出演者 茂山あきらほか

- ・ 秋の延養亭特別公開 10月22日(月)～10月28日(日)
 11月2日(金)～11月4日(日)
 ※11月開催分は感動体験プログラム事業
 午前9時30分から1日6回(土、日は7回)各回20分程度
 参加者785人

- ・ 第8回後楽園写真コンテスト
 募集期間 8月1日(水)～9月30日(日)
 応募総数 208点
 審査 10月5日(金)
 表彰 12月22日(土)
 写真展 12月22日(土)～1月14日(月・祝)

ウ 後楽園の歴史的、文化的価値を国内外の人によりよく知っていただくための取組

- ・ 後楽塾(後楽園専任ボランティア)の育成、活動支援
 園内ガイドに必要な歴史的知識を提供し、定期的にミニ講座等でフォローアップに努め、サポートを行った。
- ・ 「岡山後楽園史」、「岡山後楽園なるほど大百科」の頒布
- ・ 後楽園公式HPの開設、更新

エ 後楽園の入園者への利便性向上の取組

- ・ 音声ガイド、コインロッカー等のサービス
- ・ 記念メダル、新茶、紅茶等の頒布

(2) 岡山県ゆかりの先賢の顕彰に関する事業

① 「内田百閒記念碑園」の維持管理

岡山市中区小橋町旭川河川用地内に寄附金等により整備した「内田百閒記念碑園」の維持管理を実施した。

② 岡山県庁分庁舎（旧三光荘）百閒コーナーの管理

岡山県の要請により整備に協力した「百閒コーナー」について、財団自らが管理することとなっており、管理を実施した。

③ 特別展 生誕130年記念 内田百閒－古里岡山を訪ねて－

生誕130年を迎える内田百閒を顕彰する催しとして、吉備路文学館との共催で、郷土文化財団が遺族等から寄贈を受けた遺品等を展示するとともに、解説会や朗読会等を開催した。

日時：2月10日（日）～6月2日（日）

場所：吉備路文学館

④ 「池田光政公御涼所跡」の維持管理

岡山市北区中原地内の県有地に寄附金等により復旧・整備した「池田光政公御涼所跡」の維持管理を地元町内会に委託して実施した。

⑤ 「岡山大学附属図書館医学部分館・資料室物語」（大塚薬報：発行大塚ホールディングス）への協力

医学者生田安宅、中浜東一郎等の事績寄稿、校閲ほかの協力（万城主任研究員）

公2 普及啓発事業（第4条第2号関係）

(1) 資料の収集、保存・公開

① 岡山後樂園資料の寄附受入

「岡山県史蹟名勝天然記念物調査報告書」（昭和13年布装、付図あり）斎藤千賀子様から寄贈

② 木堂関係資料の寄附、寄託受入

木堂の書や手紙、写真を則井元幸様や高木史信様、張間啓子様など11人の方から寄贈。また、木堂の書簡や屏風、所蔵の水指を倉敷市の龍昌院などから寄託。

③ 嘉平太関係資料の寄附受入

・ 寄贈資料 2点

「岡崎嘉平太氏と鄧穎超夫人との写真ネガ」 1点

寄託者 岡崎ひとみ（東京都） 平成30年8月6日

「日中覚書貿易及び日中国交正常化等のアルバム」 1点

寄託者 安田佳三（東京都） 平成30年9月20日

・ 購入資料 該当なし

④ 内田百閒関係資料の寄託受入

整理中

(2) 講演会・研修会等の開催

① 郷土文化講座の開催

岡山の自然・歴史・文化等について理解を深めるため、専門の講師を招いて郷土文化講座を開催した。

ア 「私が出会った歴史資料」 1月22日（火）

講師 内池英樹（岡山県教育庁文化財課副参事）

参加者 58人（うち会員49人）

イ 「岡山の昆虫ーいちばん身近でいちばんわからない生き物ー」

1月29日（火）

講師 奥島 雄一（倉敷市立自然史博物館主任）

参加者 41人（うち会員35人）

ウ 「後楽園の近代」 2月19日

講師 万城あき（岡山県郷土文化財団主任研究員）

参加者 72人（うち会員60人）

② 第8回おかやま文化フォーラム

共催：岡山県 後援：山陽新聞社

日時：10月27日（土） 13時～16時

会場：岡山県立美術館2階ホール

テーマ「近世の実像を求めて 明治維新とは何であったか」

講演1「明治維新と現代」

講師 猪飼隆明（大阪大学名誉教授）

講演 2 「明治維新を問うー岡山の人々が願ったことがらー」

講師 定金 学（岡山県立記録資料館館長）

ディスカッション 司会 倉地克直（岡山大学特命教授）

参加者 170 人（うち会員 65 人）

③ 現地研修会

郷土ゆかりの自然や文化財を現地に訪ねて学習するとともに、県内美術館、博物館等の優れた美術品の観賞会等を開催した。

ア 能舞台復元 60 周年記念 延養亭・能舞台特別見学と林原美術館をめぐり現地研修会

5 月 24 日（木） 参加者 26 人（うち会員 20 人）

延養亭、栄唱、能舞台を万城あき主任研究員の説明で見学、能装束や能面などの協力展示が行われている林原美術館を植野哲也主任学芸員の説明で見学

イ 瀬戸大橋と香川の大名庭園をたどる現地研修会

6 月 7 日（木） 参加者 78 人（うち会員 68 人）

瀬戸大橋アンカレイジ内を本州四国連絡高速道路の高石博氏の説明で見学、中津万象園、栗林公園を見学

ウ 朝鮮通信使世界記憶遺産登録記念

特別講演会および特別解説会と牛窓を訪ねる現地研修会

11 月 6 日（水） 参加者 51 名（うち会員 34 人）

2017 年に「朝鮮通信使に関する記録」が世界記憶遺産に登録されたことを記念した岡山大学特命教授倉地克直先生の特別講演会を聴講、登録された詩軸を見学、岡山県立博物館で開催の特別展「岡山ゆかりの肖像」を竹原伸之学芸課長の説明で見学の後、牛窓に残る朝鮮通信使遺跡を瀬戸内市立図書館村上岳氏の説明で見学

④ 特別解説会等

県内美術館、博物館等の特色ある企画展等において、企画の意図や見どころなどについて理解を深めるため、担当学芸員等による特別解説会を実施した。

ア 特別展覧会「生きている山水－廬山をのぞむ古今のまなざし－」

(岡山県立美術館)美術鑑賞会 9月2日(日) 参加者 10人

解説:山部 泰司(出品作家)、竹浪 遠(京都市立芸術大学准教授)

案内:古川 文子(岡山県立美術館学芸員)

岡山県立美術館には、雪舟、浦上玉堂をはじめ、岡山県にゆかりのある作家の描いた水墨山水画が数多く収蔵されており、中でも玉潤「廬山図」(重要文化財)は、コレクションを代表する名品。廬山の位置する江西省と岡山県は、岡崎嘉平太氏の紹介により友好提携を締結し25年に及ぶ交流が続いている。この展覧会では、廬山に着目し国内に伝わる書画の名品に現代作家・山部泰司氏(岡山県出身)の視点を加え、新しい角度から山水画の魅力を紹介

(3) 講師の派遣

後樂園や岡山の先賢の事跡等に関する講座等に事務局から関係職員を行った。(14件)

(4) 定期刊行物、映像資料、印刷物等の作成、頒布

① 定期刊行物

ア 広報誌「きび野」の発行

第150記念号(6月)、第151号(9月) 各4,500部

イ 財団ニュース「お知らせ」送付

9回 2,000部/回

② 第十四回岡山県「内田百閒文学賞」受賞作品集

発行部数 1,000部

発行者 作品社

定価 1,080円(税込み)

収録作品 《最優秀賞作》 月痕 小浦裕子

《優秀賞作》 手裏剣公方 中野ふ菜

海と影 江口ちかる

妙薬 馬場友紀

② 県民愛唱歌「みんなの心に」の頒布

③ ホームページの更新等 随時

④ 既作成の映像資料、印刷物等の頒布 随時

岡山県自然・文化財シリーズ、岡山県人物シリーズ、文化財団のあゆみ等

公 3 地域文化振興事業 (第 4 条第 3 号関係)

(1) 地域文化の創造、育成に関する事業

① 郷土文化財団クラシックコンサート

オーケストラの演奏を聴く機会の少ない地域に演奏を届けるため次のとおり開催した。

日時 10月28日(日) 14:00開演

場所 美作文化センター

演奏 岡山交響楽団

曲目 ドビュッシー／小組曲、オペラ座の怪人メドレーほか

参加者 250人

② 会員作品展

会期 5月15日(火)～5月20日(日) 来場者 859人

場所 天神山文化プラザ

出展 絵画 74点 写真 45点 その他(染織・レリーフ) 2点

計 121点

関連イベント 平成29年度の財団事業報告のパネル展示

『きび野』150号記念 バンクナンバーの展示

③ 県内各地で開催される各種文化活動の共催、後援

ア 共催 第33回下津井節全国大会

9月22日(土)、23日(日)開催

イ 後援 「岡山の美術」特別展示 金谷哲郎・金谷朱尾子作品選

ほか 83件

(2) 苗木交付事業

休止中

(3) 研修会

第十四回岡山県「内田百閒文学賞」受賞者・最終審査員座談会

岡山の文化や歴史を見つめる契機として、また「内田百閒文学賞」をより多くの方々に知っていただくことを目的として、最終審査員3名と受賞者4名による座談会を行い、受賞作品の背景や岡山ゆかりの作品を作るきっかけとなったエピソードなどが語られた。

日 時 平成31年3月19日（火）午後2時50分～3時50分

場 所 岡山県立美術館ホール

出席者 受賞者 小浦裕子、中野ふ菜、江口ちかる、馬場友紀

最終審査員 小川洋子、平松洋子、松浦寿輝

来場者 170名

公4 受託事業(第4条第5号関係)

(1) 文化財庭園「後楽園」の管理運営受託

① 管理業務

ア 園地、亭舎、樹木等の維持管理（小修繕を含む）

イ タンチョウの飼育

② 運營業務

ア 入園業務

入園券の販売、改札、入園料の収入代行等

早朝開園(試行) 9月1日(土)～9月30日(日)

午前6:30から開園

10月1日(月)～11月30日(金)

午前7:00から開園

イ 亭舎貸出

園内亭舎の貸出予約受付、貸出に伴う連絡調整、使用料の収入代行等

ウ 入園者等への情報提供

パンフレットの作成・配付、園内行事・施設の案内等

エ 後楽園専任ボランティアの育成、実施調整等

(ア) 「後楽塾」の育成及び実施調整

募 集 14期生

基礎講座（11月から3月まで15回）

修了後、3月22日（金）～2021年3月31日（水）までの2年間ボランティア活動

応募状況 内訳：男性11名、女性15名

内、外国語のガイド応募11名

入塾状況 内訳：男性7名、女性15名

内、外国語のガイド8名

（イ）後楽園登録制ボランティア「キラリ応援隊」

- ・ガイド活動実施調整
- ・清掃部門の実施調整

③ 行事等運営

ア 伝統年中行事

（ア）茶つみ祭 5月20日（日） 美作市海田茶摘み踊り保存会

（イ）お田植え祭 6月10日（日） 哲西町はやし田植え保存会
神代郷土民謡保存会

（ウ）観蓮節 7月1日（日） 延養亭での箏曲演奏、茶席

（エ）名月観賞会 9月24日（月・祝） 延養亭での箏曲演奏、茶席

（オ）松のこも巻 10月17日（水）

イ 後楽園魅力向上委員会事業への協力

（ア）春季夜間特別開園「春の幻想庭園」

4月27日（金）～5月6日（日）

（イ）幻想庭園文化講座

日時 5月1日（火）、5月2日（水）、8月26日（日）
8月30日（木）

講師 万城主任研究員

（ウ）夜間特別開園「幻想庭園」 8月1日（水）～31日（金）

ウ 後楽園の魅力発信のための財団の受託事業

（ア）感動体験プログラム事業

- ・「和文化体験」 夜間特別開園「幻想庭園」
8月1日（水）～31日（金）期間中

県と共催、岡山後楽園鶴鳴館

予約のあった来園者に華道、香道、琴などの和楽器を体験し、和文化にふれてもらった。

- ・「座敷で楽しむ」 県と共催

定期開催 毎月第一、第三金曜日

園内建物の無料公開と簡単な和文化（折り紙等）の体験
特別開催

「新茶でおもてなし」 6月22日（金）、23日（土）

「夏休みの自由研究お助けします」

8月20日（月）～22日（水）

「重陽の節句」 9月9日（日）

「秋のスタンプラリー」

10月16日（火）～18日（木）

「能舞台復元60周年記念事業」

5月25日（金）

6月8日（金）、9日（土）

「延養亭特別公開（追加開催）」 10月26日（金）

「延養亭特別公開（豪雨災害復興観光PR）」

11月2日（金）～4日（日）

「能舞台復元60周年記念事業（お話と見学で親しむ能楽の世界）」

11月16日（金）

「着物で感じる四季・着物体験」

12月6日（木）～7日（金）

「美味しいお茶の入れ方講座」 12月21日（金）

「水墨画体験会」 1月10日（木）

「着物で感じる四季・着物体験」

3月7日（木）～8日（金）

- ・後楽園ジャンボカルタの作成

- ・後楽園お庭絵図パンフレット英語版

(イ) TWILIGHT EXPRESS 瑞風への対応

後楽園内、延養亭等の有償ガイド対応

山陽・山陰コース(周遊)で毎週水曜日に立ち寄り

(7月～10月第二週目まで豪雨及び台風災害のため運休)

(2) 岡山の先賢を顕彰する「犬養木堂記念館」、「岡崎嘉平太記念館」 の指定管理

① 犬養木堂記念館

ア 受託事業

(ア) 記念館、木堂生家、木堂塾の施設及び設備等の来館者への提供

(イ) 犬養木堂に関する資料の収集・保管及び展示

(ウ) 犬養木堂に関する専門的な調査研究等

(エ) 記念館、木堂生家、木堂塾の施設及び設備等の維持管理(小修繕を含む)

(オ) 記念館等に係る行為の許可

イ 自主企画事業等

(ア) 第24回 犬養木堂顕彰児童生徒書道展

3月16日(金)～5月6日(日)

特別賞25点 入賞412点 入選1076点

(イ) 木堂祭 5月15日(火)

記念講話

演題 犬養木堂と西郷隆盛

講師 倉敷芸術科学大学 時任英人教授

その他の催し お抹茶の接待・箏の演奏・生け花の展示

(ウ) 犬養木堂記念館所蔵 一品展33 5月26日(土)～6月24日(日)

五・一五事件直後に松竹キネマ株式会社が作成したニュース動画「噫犬養首相」の上映とその映像についての説明パネルを展示し、五・一五事件直後の状況を映像とともに紹介した。

(エ) 夏の特別展 犬養木堂記念館開館25周年記念

「木堂さんと西郷さん」 8月1日(水)～8月31日(金)

西南戦争の従軍記者として活躍し、ジャーナリストとして著名に

なった木堂の発信記事や、のちに木堂が研究した西郷隆盛論を紹介するとともに、近代史をエピソードを交えて紹介した。

記念館入口には木堂と西郷隆盛の等身大パネルを設置。期間中の土・日曜日に木堂と西郷のぬり絵ワークショップを行った。

(オ) 秋の企画展 犬養道子氏追悼展 「道ちゃんとおじいちゃま」

10月10日(水)～12月6日(木)

木堂の愛孫道子氏の没後1年の追悼展として、木堂から道子氏への手紙や道子氏の著書などを通して「祖父」としての木堂やこれまでの道子氏の業績を紹介した。

・展示解説 講師 石川由希主任(学芸員)

10月27日(土)・11月4日(日)

午後2時～(約1時間)

(カ) 紅葉と和文化を楽しむ会 11月23日(金)

旧犬養家住宅(国指定重要文化財)では、投壺と投扇興の体験、木堂塾では、煎茶の接待及び犬養木堂(日本棋院から追贈三段)が愛好していた囲碁を楽しんでいただけるように「碁会所」と「囲碁教室」を開催した。

協力：投壺と投扇興を楽しむ会、一茶菴 村上社中、吉備地区
囲碁同好会

(キ) 新春特別陳列 1月5日(土)～1月31日(木)

常設展示室の一角で、木堂の年賀状とともに新たに見つかった。

木堂が所蔵していた水指や備前焼を展示し、今年の干支である亥の年の木堂の行動を紹介した。また、木堂のイラストを使用した福笑いも設置した。

(ク) 犬養木堂記念館所蔵 一品展34 1月19日(土)～2月18日(日)

書家として有名でよく書を求められていた木堂の、最ものびやかであると評されている70歳頃の書を仕立てた六曲屏風を初公開した。

(ケ) 第25回犬養木堂顕彰児童生徒書道展 3月16日(土)～5月6日(月)

特別賞25点 入賞412点 入選1, 133点

(コ) 木堂記念館主催の企画展(4回)を対象としたスタンプラリー

全企画展見学者でスタンプを4つ集めた方に記念品をプレゼントした。

(サ) 孫文記念館の特別展「日本の孫文・宋慶麗ゆかりのミュージアム」への協力

会期：11月3日（土）～12月3日（日）

会場：孫文記念館（神戸市垂水区東舞子町2015）

記念館所蔵の孫文の手紙（木堂宛）画像の提供や施設説明パネル作成へ協力した。

② 岡崎嘉平太記念館

ア 受託事業

(ア) 記念館設備等の来館者への提供

(イ) 岡崎嘉平太に関する資料の収集・保管及び展示

(ウ) 岡崎嘉平太に関する専門的な調査研究等

(エ) 記念館設備等の維持管理

(オ) 記念館等に係る行為の許可

イ 自主企画事業等

(ア) 「嘉あちゃんの部屋」利用促進 ミニ企画展開催

森の宝石「ブッポウソウ」写真展・川柳展 参加者284人

4月1日（日）～4月6日（金）

(イ) 第12回「嘉平太が愛したふるさと岡山写真展」

応募181点 参加者3,414人

4月16日（月）～6月18日（月）

7月17日（火）～7月22日（日） 岡山県天神山文化プラザ

(ウ) 平成30年度「岡崎嘉平太記念館 わくわく科学塾」

6月22日（金）

参加者230人

岡崎嘉平太氏の「創造」の書には、“新しい技術を開発しないかぎり、日本の未来はない。未開拓な科学技術の分野の研究を応援する” という氏の若い人への期待が込められている。その思いを伝えるべく地元小学校の児童に身近に科学にふれ合う機会を提供

(エ) 日中平和友好条約締結40周年記念／岡崎嘉平太生誕120周

年記念

参加者 3, 272人

「岡崎嘉平太とその時代」展への協力

7月24(火)～8月20日(月)

主催 ANAホールディングス株式会社、清華大学

会場 羽田空港国内線第2旅客ターミナル3階

ディスカバリーミュージアム

(オ) 絵手紙をかく会 8月9日(木) 参加者40人

(カ) 平成30年度夏休みミニ企画展 参加者450人

「知ってるかな？わたしたちのまちのすごい！人－郷土出身の偉人たち」
8月8日(水)～8月27日(月)

吉備中央町出身で、岡山県名誉県民でもある岡崎嘉平太氏をはじめ、同称号が贈られている”郷土の偉人”や吉備中央町が輩出した”郷土の偉人”も主にパネルや写真で紹介

〈関連事業〉

・期間中、嘉あちゃんの部屋に関連図書を並べ、自主学习、自主研究の場を提供
参加者127人

・期間中、『大きな嘉平太さんと三玲さんをみんなで完成させよう！』と題して、ビックアートのワークショップを開催

(キ) 秋の特別企画展「岡崎嘉平太とANA(全日空)－その軌跡と今に生きる精神」
参加者1,383人

9月22日(土)～12月27日(木)

岡崎嘉平太氏が、全日空の設立から参画した経緯や社員と信頼関係を結びつつ、企業とはいかに社会へ貢献すべきかを問い続けた姿に着目し、経済界、主に航空業界で活躍した側面を紹介

〈関連事業〉

・秋の特別企画展&岡山桃太郎空港 見学ツアー

11月11日(日) 参加者42人

(ク) 「嘉あちゃんの部屋」利用促進 ミニ企画展開催

岡本正照 木彫仏像－心のふるさと展 参加者965人

9月29日(土)～10月29日(月)

(ケ) チアフルデー 地域との連携事業 参加者515人

国立吉備青少年自然の家が主催するチアフルデーに協賛し、地

- 域連携事業の取組として写真展応募作品の出品(一部)とビッグアートを展示紹介 10月14日(日)～10月25日(木)
- (コ) 第17回「岡崎嘉平太がめざした世界平和への道を考える講演会」 参加者140人
- 日時 11月24日(土) 午後1時30分～午後4時
- 場所 岡山県立図書館2階多目的ホール
- 演題 「日中友好なくしてアジアの平和はない」
- 講師 丹羽宇一郎 公益社団法人 日中友好協会会長
- (サ) 日中平和友好条約締結40周年記念／岡崎嘉平太生誕120周年記念 参加者11,300人
- 「岡崎嘉平太とLT貿易」展への協力
- 12月5(水)～12月27日(木)
- 主催 ANAホールディングス株式会社、清華大学
- 会場 清華大学美術学院(中国・北京市)
- (シ) 平成30年度「吉備中央町図画展」 参加者171人
- 1月12(土)～1月21日(月)
- 岡山県の児童生徒絵画展で入賞した町在住の中学生以下の優れた作品を町教育委員会との共催により企画展示
- (ス) 第11回嘉平太が愛したふる里の子ども作品展
- 2月22(金)～3月3日(月) 参加者140人
- 吉備中央町内全小学校の6年生が卒業制作した作品を一同に展示
- (セ) 「嘉あちゃんの部屋」利用促進 ミニ企画展開催
- 久成さんのどうぶつ組木展
- 2月22日(金)～3月24日(月) 参加者564人
- (ソ) 「岡崎嘉平太記念館だより」の発行
- 岡崎嘉平太記念館の活動報告や今後の予定、寄贈品紹介などを年2回配布

(3) 岡山県自然保護センター

① 受託事業(再委託)

ア タンチョウ飼育に関すること

イ 傷病鳥獣の保護に関すること

ウ 自主企画事業等

(ア) 初心者のための自然観察会「こっそり教えますタンチョウの
ヒミツ」 6月3日(日) 参加者11名

(イ) スペシャルイベント タンチョウと記念写真を撮ろう
8月12日(日) 参加者3名

(ウ) スペシャルイベント あなたの夢かなえますタンチョウ飼育
体験 10月21日(日) 参加者1家族

(エ) スペシャルイベント タンチョウえさやり体験&記念撮影会
11月3日(土・祝)

(オ) タンチョウ散策

アオ(H16年生)・ロクハ(H15年生)・ワケタン(H29年生)

10時20分～12時まで 数回

9月:17日、20日、24日

10月:1日、4日、7日、8日、11日、13日、14日

15日、18日、20日、21日、22日、25日

28日(佐伯タンチョウフェスタ)

(カ) 外部展示

端午の節句まつり 玉島市民交流センター 5月5日(土)

井原市環境フェア(第21回) 6月3日(日)

青少年のための科学の祭典2018

11月10日(土)・12日(日)

(キ) 2018年夏のボランティア体験受入(地元中学生2名)

7月:27日

8月:3日、9日、10日

② 職員派遣による対応

派遣職員2名

ア 事務管理

イ 植物の調査研究

ウ 自然保護思想の普及啓発等業務補助

(4) 第十四回岡山県「内田百閒文学賞」の募集等に関する業務

岡山県が生んだ名文筆家 内田百閒の生誕百年を記念して創設された「内田百閒文学賞」を岡山県と共催で運営しており、岡山にゆかりのある作品を全国から募集・贈賞することにより、本県の文化の振興を図り、岡山の魅力を全国に発信する。30年度は、審査、表彰式等を挙げる他、財団独自の取組として、審査員と交えた受賞者座談会の開催や、受賞作品の刊行・頒布等を行う。

主催 岡山県、(公財)岡山県郷土文化財団

後援 岡山県教育委員会

運営委員会 6月29日(金)開催 審査要領、審査体制の決定

・応募作品数 282編

・第一次審査会

地元審査員による審査

8月24日(金) 42編選出

・第二次審査会

地元審査員による審査

9月21日(金) 10編選出

・最終審査会 11月29日(木) ホテルグランヴィア

最終審査員による審査

最終審査員 小川洋子

平松洋子

松浦寿輝

贈賞作品(最優秀賞1編、優秀賞3編)の決定

・表彰式 3月19日(火) 県立美術館ホール

(参考) 管理施設等入園(館)者数 (人)

| 施設名 | 平成31年3月末 ㉞ | 平成30年3月末 ㉟ | ㉞－㉟ |
|----------|---------------|---------------|---------|
| 岡山後楽園 | 824,499 | 887,303 | △62,804 |
| 犬養木堂記念館 | 11,653 | 11,858 | △205 |
| 岡崎嘉平太記念館 | 18,084 | 17,746 | 338 |
| 自然保護センター | 31,154 | 32,520 | △1,366 |

その他 西日本豪雨災害寄付金事業(第4条第6号関係)

「平成30年7月豪雨岡山県災害義援金」

・募金の趣旨

理事会での発議を踏まえ、平成30年7月豪雨のうち、7月6日から8日にかけての大雨に伴う浸水等により被災された県内の方々の援護の一助として義援金の募集を行った。

・募集期間

平成30年7月25日(水)～8月31日(水)

募集期間終了後も寄附があったため、最終受付は10月23日(火)となった。

・寄附金の状況 270件 3,184,000円

・贈呈

社会福祉法人山陽新聞社会事業団へ155件 2,461,500円

岡山県へ115件 722,500円